

Supermileage Car Challenge HIROSHIMA 2026

チーム紹介(全15 チーム)

98 FANCY CAROL(広島県)

1988 チーム結成以来、今年で 38 年を迎えます。当初は高低差 33m の鈴鹿サーキットで高速滑走、登坂仕様のマシン製作に没頭しておりました。その後、本場ヨーロッパに遠征し、7 年間世界の強豪相手に平坦なサーキットで世界記録を夢中になって競い合いました。この間、走行抵抗低減の研究成果を反映した新型車両を順次 6 台製作し、オリジナルの超小型高効率エンジンを製作しました。記録樹立後は、本拠地であるこの広島大会をメインにこれまでの開発に加えて、計測器の開発、バイオ燃料の研究やモノづくりの普及、後進の育成に力を注いでおります。老体ですがまだまだ現役です。今年から教え子で若手エンジニアがメンバーに加わり、新規一転、記録に挑戦します。



2 チームファイアボール(愛知県)

車体もエンジンも 25 年くらい前の制作となりますが、何回もの改良(?)を重ねて現在に至っています。最初の頃はマシン制作だけで手一杯でしたが、それよりも使用する部品の性能評価等やるのが次々として出てきて止められない状態です。そんな中で大会で良い記録を残せば次へとヤル気もできます。今回は皆さんにも使っていただきたいモノとして「タイヤテスト機」を持ち込みます。タイヤ、チューブ、リム等の転がり性能に関するテスト機です。一度使っていただければ、いろんな事が判ると思います。また他の大会で使われているCN燃料も持ち込みます。この燃料は使うたびに仕様変更されているようで、現在はハイオクガソリンにかなり近い性能のようです。広島の素晴らしいコースでハイオクガソリン、CN燃料それぞれがどれくらいの記録が残せるか楽しみです。



3 富士エコラン・チーム白糸(静岡県)

去年はドライバーが都合が悪くなってしまう、急遽自分で運転する事になりました。記録は伸びませんでしたが、製作者自ら運転することにより、操作系の改善点も見えてきたりと大変有意義な経験をさせてもらいました。今年も継続で私がドライバーを務める予定ですが走り方を煮詰めて記録 UP を図りたいと思います。
(酷暑が凄すぎて外部ドライバー頼むことが忍びない状況です..)

懇親会も楽しみにしております。今年も宜しくお願い致します！



4 名城大学 SPICA(愛知県)

名城大学エコノパワークラブのSPICAは今年の参加で9回目です。今年も軒遇突智と共に2台で参加する予定です。この大会の最高記録は今から10年前、2016年大会での2365.9km/Lです。今大会の目標はこの記録を上回りたいところですが、コロナ以降の大会では2000km/Lの壁を突破できていません。今年の目標はその2000km/Lの壁を破ることが目標です。今年は、ホンダエコマイレージチャレンジもてぎ大会の大学・高専部門で1位を取っているので、勢いこのままに2000km/L以上を目指して頑張ります！！



5 名城大学 軻遇突智(愛知県)

名城大学 軻遇突智は 2004 年より活動開始および SUPER MILEAGE CAR CHALLENGE HIROSHIMA に参戦しており過去の最高記録は 2300km/L を超える燃費を記録したことがあります。しかし、コロナ期間以降過去の記録にあまり迫ることができずにいた為、自己記録を更新しそのうえでさらなる高みを目指し活動を続けています。

今年で 22年目を迎えるほぼネオクラシックカーとも呼べてしまう存在ではありますが、コロナ以降と比較するとマシンを昨年あたりから良い状態へ持っていかつつあります。昨年は問題を抱えつつもコロナ以降では最高記録を更新できました。そこからコツコツと小さな改良を重ねて今年の 26 年大会に挑みます。

今大会で 20 回目の出場という節目もあり一部カラーリングを変更、さらに電装系などマシンも改善し、例年以上に気持ちが入る勢いそのままにコロナ期間前も含めた軻遇突智がもつ記録の更新を目指し頑張りたいと思います。



6 山口県立宇部工業高等学校 機械研究部(山口県)

私たちはこの大会に初出場する山口県立宇部工業高等学校機械研究部です。今回が初めてのチャレンジとなるため、まずは無事に規定周回を走り抜き、完走することを第一目標として掲げています。夏場の暑い時期の長時間走行となるので、体調をしっかり整え、チームワークを発揮し万全な体制で臨みたいです。

競技以外でも、全国から集まる他のチームの素晴らしいエコランカーや技術を直接目にするのも今大会の大きな楽しみの一つです。周りのマシンから多くのことを学びつつ、自分たちのマシンを信じて最後まで走り切ります。

どうぞよろしくお願いします。



7 エコランチーム みみっちーず(滋賀県)

エコランチーム みみっちーずです。滋賀県からの参加です。車両はやっぱり大した進化はしていませんので、記録もぼちぼちですが、昨年よりはちょっと良い記録を残せるようにしたい。

鈴鹿大会は雨で走れなかったなので、ここで頑張りたいです。

夜の懇親会と合せてよろしくお願いします。



8 teamY2(福井県)

チーム Y2(ワイツー)はメガネ産地福井からエントリーする小さな眼鏡工房のチームです。

毎回ワンオフ工房特製のスペシャルサングラスを入賞商品として提供しています。

今回はこのサングラスの特徴についてご紹介致します。

フレームは 0.8mm 厚のベータチタン製で 3.5 グラムの総重量になります。

そして最大の特徴はレンズの全周をフロロカーボンのテグスで覆ったことです(特許取得済)

弾力性のあるテグスによりレンズの歪みを抑えレンズの性能を最大限引き出す構造になっています。

Y2 はこの特性を生かし主に視力矯正のメガネとして小売店とタイアップしてお客様にお届けしています。

今回この Y2 をサングラスに仕立てたものでデザイン違いで 4 本用意しています。

内燃機関部門の1位から3位までと EV 部門の1位の合計 4 本となります。

このサングラスは大会本部の机に置かせて頂きますので是非さわって掛け心地を体験して頂きたいと思います。

では、暑い中での大会になりますが体調に気を配りながら頑張りましょう。



9 Team With You(愛知県)

愛知県の Team With You です。

最高記録は 2018 年の 3068km/L です。

昨年は CN 燃料に対応するためのエンジンの仕様変更に失敗し大会参加を見合わせました。

テストを繰り返し、なんとかエンジンが回るようになり、今年はその仕様で参加です。

広島大会では正確なデータが取れるため、走りながら評価、調整を行い自己記録更新できるように、がんばります。

また、夜の技術交流会も楽しみにしていますのでよろしくお願いします。

気軽に声をかけてください。 メンバー、ドライバーも募集中です！！



10 松江高専エコラン部(島根県)

松江工業高等専門学校エコラン部です。本来は8月上旬に九州で開催予定だった大会へ出場する予定でしたが、地震の影響により大会が中止となったため、このたび急遽こちらの大会に参加させていただくことになりました。諸事情により、多くの部員が参加できなくなってしまいましたが、限られた人数で力を合わせ、チーム一丸となって最後まで全力で挑戦します。

私たちは今回、カーボンニュートラル燃料に挑戦します。この部門への挑戦は2年目となり、昨年の経験を生かしながら、昨年の記録更新を目標に日々活動が続けてきました。九州大会とはコースや競技環境が異なるため難しさもありますが、少しでも良い記録を残せるよう精一杯頑張ります。



81 Clean Diesel Team(兵庫県)

兵庫県立但馬技術大学校自動車部は、自動車整備士を目指す学生たちが学んだ知識や技術を実践する場として創部し、国内では珍しいディーゼルエンジンを採用して省エネカーレースに挑戦しています。使用燃料に関しても、軽油にこだわらずFAMEなども採用し、国内の省エネカーレースに挑戦しています。コロナ前までは海外の省エネカーレースにも挑戦していました。

新メンバー3名加入で廃部の危機を乗り越えた昨年に続き、今年も新メンバーが1名加入しました。しかもドライバーで、久々の学生ドライバー誕生です。卒業生ドライバー

のサポートを受けながら初めてのレースに臨みます。ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、よろしくお願いいたします。今回の大会では完走と昨年の記録を上回ることを目標としておりますが、オフシーズンにリフレッシュしたエンジンの仕上がり具合をしっかりと確認していきたいです。

最後になりましたが、当方の活動を支援して下さるサポート企業の皆様に感謝申し上げます。

本校では、来年度生を募集いたしております。一緒に活動しませんか？詳しくは本校 HP をご覧ください。

<https://www.tajima.ac.jp>



D2 久留米高専エコランチーム(福岡県)

久留米工業高等専門学校自動車部エコランチームは、活動が止まりかけていたチームを「もう一度走らせよう」と立ち上がった復活チームです。

3D-CAD や 3D プリンターを活用した設計に加え、技術職員の匠の技で部品を製作。開発中の超小型ディーゼルエンジン搭載に向け、高専らしいものづくりに挑戦しています。

ただし、現時点ではまだ一度も走っていません。「本当に動くのか？」と、自分たちが一番心配しています。

目標は記録更新ではなく、まずは「完走」。いや、その前に「出走」。止まっていたチームが再び走り出すための挑戦を続けています。



E1 広島県立技術短大 EV-projectA(広島県)

広島県立技術短期大学の学生によるEV-Projectは、2018年に競技用電気自動車の製作を開始し、2019年から毎年鈴鹿サーキットで開催されるEne-1 Challenge SUZUKA 全国大会に挑戦しています。学校で学んだ知識と学校内の設備を活用し、メンバー同士で協力しながら週に3回、電気自動車の製作や改良に取り組んでいます。チームは短大の学生で構成され、アットホームな雰囲気の中で活動しています。2023年大会以来、今回が3回目の参加となりますが精一杯走りますのでよろしくお願いします。



E2 広島県立技術短大 EV-projectB(広島県)

広島県立技術短期大学の学生によるEV-Project は、2018 年に競技用電気自動車の製作を開始し、2019 年から毎年鈴鹿サーキットで開催される Ene-1 Challenge SUZUKA 全国大会に挑戦しています。学校で学んだ知識と学校内の設備を活用し、メンバー同士で協力しながら週に3回、電気自動車の製作や改良に取り組んでいます。チームは短大の学生で構成され、アットホームな雰囲気の中で活動しています。2023 年大会以来、今回が3回目の参加となりますが精一杯走りますのでよろしくお願い致します。



E3 長野県工科短大(長野県)

長野県工科短期大学校の機械システム学科の学生 3 名(早川研究室2名、飯田研究室1名)で結成したチームです。本チームは今年 4 月に車両づくりをスタートしました。設計から製作まですべてを学生の手で行い、完成後は上田自動車学校をお借りして何度も試験走行を重ねました。走りのデータをもとに、モーターの力をタイヤに伝える仕組みを細かく調整し、より速く・より効率よく走れるよう改良を続けました。また、車両をできるだけ軽くするため、これまで部品の製作に使っていた 3D プリンターの使用を大幅に見直し、従来 31kg あった車体を 27kg まで 4kg 軽量化することに成功しました。さらに、安全に走行できるよう、運転中の視界が確保しやすいフロントウィンドウの設計にもこだわりました。2026 年 5 月 23 日(土)に福島県エビスサーキットで開催された電気自動車の技術を競う大会「World Electric Vehicle Challenge (WEVC) in EBISU」に出場し、学生クラス2位入賞を果たしました。

